

平成 24 年度科学技術関係予算に関する  
重点施策パッケージ案等についての意見募集の結果について（案）

平成 23 年 12 月 8 日  
資源配分 G

1 意見募集期間

平成 23 年 11 月 28 日（月）～平成 23 年 12 月 5 日（月）

2 意見提出数

38 件

※ 1 人から複数の意見提出があった場合には、それぞれ別に集計しています。

3 意見提出件数（属性別）

○ 所属機関別

所属機関	提出件数
大学・公的研究機関	13 件
民間企業	24 件
官公庁	1 件
合計	38 件

4 項目別集計

	項目名	合計	特定すべき	改善・見直しをした上で特定すべき	特定すべきではない	その他
施策パッケージ	半導体製造プロセスの省エネ化・小型化の実現	3 件	3 件	0 件	0 件	0 件
	先進的宇宙システム等の研究開発による宇宙産業基盤の強化	10 件	8 件	1 件	1 件	0 件
	子どもの脆弱性を考慮したリスク管理体制構築による安全・安心な環境の実現	1 件	0 件	1 件	0 件	0 件
	若手研究人材のキャリアパスの整備	7 件	4 件	3 件	0 件	
	次代を担う人材の育成	2 件	1 件	0 件	1 件	0 件
第 3 期科学技術基本計画の国家基幹技術	宇宙輸送システム	1 件	-			
	革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ（HPCI）の構築	1 件	-			
	海洋地球観測探査システム	8 件	-			
基盤的施策	科学研究費助成事業	4 件	-			
	戦略的創造研究推進事業（新技術シーズ創出）	1 件	-			

## 5 ご意見に対する考え方

ここでは、主なご意見と、それに対する考え方をまとめました。これら以外のご意見についても、科学技術関係予算の重点化において参考とさせていただきます。

### I. 施策パッケージ

#### 【先進的宇宙システム等の研究開発による宇宙産業基盤の強化に対するご意見】

○ASNARO に関しては、ややもすると、JAXA の「だいち」の成果を、同じ地球観測衛星ということで持ち出しているきらいがあるが、「だいち」とは設計が異なるため、「だいち」のような利用成果は期待できない。

#### 【ご意見に対する考え方】

○大規模衛星に劣らない機能を有しつつ、低価格、短納期で高性能な世界最先端の小型宇宙システムを開発することにより我が国の宇宙産業基盤強化を図るための重点施策パッケージとして位置づけております。

○国内需要・市場が縮小する今、経済復興のためには海外輸出・展開が必須。我が国の得意とする特長を生かして宇宙産業を強化することはひいては日本全体のプレゼンスの向上、経済活性化に直結する重要な施策である。

○国際社会における日本の立場を政治&経済の両面から確固たるものにするためにも、新興国への衛星および衛星利用技術の供与・支援は重要な戦略となります。このため、国主導により先進的な衛星システムの開発を行い宇宙産業を盛り立てていく必要があると考えます。

#### 【ご意見に対する考え方】

○ご意見の趣旨を踏まえ、重点施策パッケージとして特定します。

【子どもの脆弱性を考慮したリスク管理体制構築による安全・安心な環境の実現に対するご意見】

○13年という長期にわたる施策なので、時勢に応じ必要な測定・調査を追加しながら、多分野(都市環境整備、医療、教育等々)において活用できるデータアーカイブを作成していただきたいと思えます。

#### 【ご意見に対する考え方】

○調査項目及びスケジュールについては、「今後の予算の状況、基本計画の議論の進捗等を踏まえて、適宜必要な改定を行う予定」とされています。また、調査から得られたデータを活用し、「科学の進歩ならびに環境健康施策の推進に資する」ことが期待されています。

#### 【若手研究人材のキャリアパスの整備に対するご意見】

○女性研究者研究活動支援事業は女性に限定するべきではない。「イクメン」という言葉に代表されるように、最近では男性も出産後の家事や子育てに積極的に参加す

ることが珍しくなくなり、その結果、男性研究者も女性同様、研究活動と子育ての両立をする必要が出てきている。したがって、この女性研究者研究活動支援事業は女性だけでなく男性研究者も対象にするべきである（名称も変えるべきである）。それにより男性研究者が子育てにより積極的に参加できるようになるため、必然的に女性の子育ての負担が軽くなり、その結果、女性の社会進出をより促進することになる。逆に、女性研究者だけを支援する現在の事業を続けると、女性研究者が出産・子育てをより容易に行うことができるようになると同時に、その支援を受けない男性研究者が子育てに今以上に参加しにくくなってしまふ。そしてその結果、イクメンでは研究が続けられないという、時代に逆行する事態が生じることが予想される。出産・子育てに男女が公平に参加するのが欧米先進国での常識であり、日本の社会が目指すべき方向であることは言うまでもないので、その支援策も男女両方に対して公平に行うよう強く要望する。

#### 【ご意見に対する考え方】

- 当該施策は、我が国の「社会のあらゆる分野において、2020年までに、指導的地位に女性が占める割合が、少なくとも30%程度となるよう期待する。」という目標の下に行われる施策として位置付けられており、研究者の育児支援そのものが目的ではない。女性研究者の配偶者が研究者であるとは限らず、男性を含めた育児支援対策は別途行われるべきものと認識している。

#### 【次代を担う人材の育成に対するご意見】

- 日本はOECDの国際学習到達度調査で科学への関心は57か国・地域中、最低レベルを記録しているのだから、学生を科学に惹きつけるための施策に力を入れるべきだ。

#### 【ご意見に対する考え方】

- 2007年の国際教育到達度評価学会（IEA）の国際数学・理科教育動向調査では、問題に対する平均得点は上位にあるが、「理科の勉強が楽しい」という質問に「強くそう思う」と答えた小学校4年生の割合が57%、中学2年生で18%などとの結果を踏まえ、関係施策の充実に努めてまいりたい。

なお、2006年のOECD生徒の学習到達度調査結果では、57か国・地域が参加のうち科学的リテラシーは6位となっており、2009年の調査結果では5位（65か国・地域が参加）となっており、最低レベルとは認識していない。

## II. 第3期科学技術基本計画の国家基幹技術

### 【革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ（HPCI）の構築に対するご意見】

- ・ 衰退著しい日本のエレクトロニクス産業の数少ない有望株である。→現時点で世界的に優位性のある分野は強化すべきであると考え。バブル崩壊後の半導体産業衰退を猛省すべき。また、ITのデファクトのほとんどを米国が席巻しており、唯一日

本が戦える分野である。

- ・スパコンを活用した、インフラ・システム導入の計画が日米・EU 中心国以外（新興国）で始まっている。→TOP500 で「京」が No.1 を獲得したことにより、「京」及び日本の技術への期待が諸外国より集まっている。エレクトロニクス・技術大国としての日本のプレゼンスを高めることができる。
- ・既に IBM を始めたとした海外の競合 IT ベンダーが将来の「エクサスケール」に向けての技術開発を行っている。→技術革新には多大な資金と政府の援助が必要である。
- ・現在は米国技術が主流であるが、各国で米国技術への過度の依存は特にインフラ・システムへの適用においては課題であるとの認識
- ・中国などの追い上げはあるが、スパコンプラットフォーム技術と利用技術の両者を保持するのは、現時点では米国と日本のみ。

#### 【ご意見に対する考え方】

- ご指摘のとおり、我が国の産業競争力強化の観点も含めて、企業・産業界の関与、利活用をより一層促進し、HPCI の開発、利用研究を推進していくことが重要であると考えます。

#### 【海洋地球観測探査システムに対するご意見】

- 環境先進国として地球環境保全に対する日本の果たすべき役割は大きく、また日本の技術力を有効に活用することにより世界に誇る成果を出すことができると考えます。環境観測は長期間継続して実施し変化をモニタしていくことが重要であり、今後も継続して衛星その他による環境観測を続けていくことが世界が望む国際貢献です。

#### 【ご意見に対する考え方】

- 御指摘の、地球環境保全に対する国際貢献、地球環境長期変動の観測継続の重要性に関するご意見について、参考にさせていただきます。

### Ⅲ. 基盤的施策

#### 【科学研究費助成事業に対するご意見】

- 科研費は日本の学術の正に根幹であり、省庁の枠を超えて、他の類似事業の統合などをはかり、拡充に最大限努めるべきである。

#### 【ご意見に対する考え方】

- 当該課題については、ご意見の趣旨を踏まえ、関係施策を適切に推進していきます。